

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社グリムス 上場取引所 東
 コード番号 3150 URL <https://www.gremz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 阿部嘉雄 TEL 03-5769-3500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	24,859	4.7	5,045	6.8	5,160	8.3	3,492	9.8
2024年3月期第3四半期	23,750	△2.6	4,725	67.2	4,764	65.1	3,181	67.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,511百万円 (9.2%) 2024年3月期第3四半期 3,216百万円 (60.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	151.20	151.11
2024年3月期第3四半期	138.39	137.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	23,777	15,307	64.0
2024年3月期	21,612	12,991	59.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 15,213百万円 2024年3月期 12,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	32.00	47.00
2025年3月期	—	20.00	—		
2025年3月期（予想）				37.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	13.7	6,500	24.6	6,570	24.7	4,320	22.0	187.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	23,814,800株	2024年3月期	23,814,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	712,793株	2024年3月期	712,793株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	23,102,007株	2024年3月期3Q	22,986,930株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、企業収益の改善による雇用・所得環境の改善、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかに回復しているものの、不安定な国際情勢や、為替相場の変動や資源価格の高騰による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

エネルギーをめぐる状況として、引き続き電力コストの上昇や、GX（グリーン・トランスフォーメーション）の実現に向けた再生可能エネルギーの活用拡大が見込まれることから、当社グループとしては事業用太陽光発電システムを成長の主軸として経営資源を集中し、販売を拡大いたしました。電力小売については、低圧電力における独自燃調（電力市場調達コストの一部を電気代に反映する仕組み）の運用や高圧電力における市場価格連動型契約の促進による電力調達価格変動リスクの低減といった取り組みによるリスクヘッジの徹底を行い、安定的なストック収益として収益基盤の拡充を図ってまいりました。底堅い需要があるコスト削減・省エネルギー・再生可能エネルギー関連の商品・サービスについては、受注は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は24,859百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は5,045百万円（前年同期比6.8%増）、経常利益は5,160百万円（前年同期比8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,492百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

事業別の状況は、以下のとおりであります。

[エネルギーコストソリューション事業]

エネルギーコストソリューション事業につきましては、電力の自家消費を提案する事業用太陽光発電システムや蓄電池、事業者のコスト削減のための各種商材を販売し、顧客に電力の運用改善・設備改善などの提案をしてまいりました。

その結果、売上高は7,345百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は3,151百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

[スマートハウスプロジェクト事業]

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、再生可能エネルギーによる自家消費、太陽光発電の10年間の固定価格買取制度の適用が終わる卒FIT案件の増加、住宅のエネルギーレジリエンス強化へのニーズにより蓄電池への需要があることから、蓄電池の販売を積極的に推進いたしました。

その結果、売上高は3,195百万円（前年同期比14.5%減）、セグメント利益は350百万円（前年同期比44.1%減）となりました。

[小売電気事業]

小売電気事業につきましては、電力販売量の増加、電力市場価格上昇の影響による販売単価の上昇、相対電源の確保等のリスクヘッジ施策による調達価格の抑制等により、売上高・利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は14,318百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は2,154百万円（前年同期比30.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は18,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,911百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,235百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が526百万円増加したことによるものです。固定資産は4,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定が118百万円、投資有価証券が100百万円、敷金及び保証金が221百万円増加した一方、機械及び装置が52百万円、繰延税金資産が88百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は23,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,165百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が119百万円、1年内返済予定の長期借入金が95百万円、未払消費税等が216百万円、賞与引当金が262百万円増加した一方、未払金が250百万円、未払法人税等が300百万円減少したことによるものです。固定負債は2,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が248百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は8,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は15,307百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,315百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に係る四半期包括利益により3,511百万円増加した一方、剰余金の配当により1,201百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,474,017	11,709,606
受取手形、売掛金及び契約資産	3,635,167	4,161,973
商品	2,476,369	2,620,100
前払費用	147,554	125,673
未収還付法人税等	827	2,150
未収消費税等	182,795	—
その他	54,797	263,852
貸倒引当金	△58,041	△58,811
流動資産合計	16,913,486	18,824,545
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	79,761	70,386
機械及び装置（純額）	1,052,295	1,000,174
車両運搬具（純額）	20,599	16,135
工具、器具及び備品（純額）	60,923	50,674
土地	123,877	123,877
建設仮勘定	12,606	131,175
有形固定資産合計	1,350,064	1,392,424
無形固定資産		
ソフトウェア	208,718	169,328
ソフトウェア仮勘定	—	14,300
無形固定資産合計	208,718	183,628
投資その他の資産		
投資有価証券	2,378,814	2,479,170
繰延税金資産	330,767	242,172
敷金及び保証金	381,219	602,232
その他	49,337	53,535
投資その他の資産合計	3,140,138	3,377,110
固定資産合計	4,698,921	4,953,163
資産合計	21,612,408	23,777,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,143,052	2,262,368
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,192,190	1,288,108
未払金	953,782	703,311
未払法人税等	1,080,144	780,092
未払消費税等	249,175	465,721
契約負債	63,174	56,791
預り金	27,875	95,283
賞与引当金	—	262,806
その他	807	3,722
流動負債合計	5,810,201	5,918,206
固定負債		
長期借入金	2,472,809	2,224,766
資産除去債務	79,105	78,794
その他	258,613	248,273
固定負債合計	2,810,527	2,551,834
負債合計	8,620,729	8,470,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	708,306	708,306
資本剰余金	446,919	446,919
利益剰余金	12,246,603	14,538,247
自己株式	△482,470	△482,470
株主資本合計	12,919,359	15,211,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,486	△14,737
繰延ヘッジ損益	—	17,464
その他の包括利益累計額合計	△15,486	2,726
新株予約権	87,806	93,936
純資産合計	12,991,679	15,307,666
負債純資産合計	21,612,408	23,777,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	23,750,251	24,859,850
売上原価	16,122,869	16,490,210
売上総利益	7,627,382	8,369,639
販売費及び一般管理費	2,902,373	3,324,099
営業利益	4,725,008	5,045,540
営業外収益		
受取利息	37	851
受取配当金	35,758	92,312
受取手数料	12,170	13,987
受取保険金	10,229	11,337
その他	4,905	12,763
営業外収益合計	63,101	131,253
営業外費用		
支払利息	9,258	11,243
減価償却費	9,181	3,075
その他	4,700	2,038
営業外費用合計	23,141	16,357
経常利益	4,764,969	5,160,436
特別利益		
固定資産売却益	39	19
特別利益合計	39	19
特別損失		
固定資産除却損	2,521	2,158
固定資産売却損	769	1,255
盗難損失	39,972	—
特別損失合計	43,263	3,413
税金等調整前四半期純利益	4,721,746	5,157,042
法人税、住民税及び事業税	1,590,252	1,583,091
法人税等調整額	△49,766	81,002
法人税等合計	1,540,485	1,664,094
四半期純利益	3,181,260	3,492,948
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,181,260	3,492,948

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,181,260	3,492,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,458	749
繰延ヘッジ損益	33,684	17,464
その他の包括利益合計	35,142	18,213
四半期包括利益	3,216,402	3,511,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,216,402	3,511,161

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となりますが、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間における減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	140,483千円	147,777千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,725,595	3,736,225	13,288,430	23,750,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	6,725,595	3,736,225	13,288,430	23,750,251
セグメント利益	2,915,790	626,780	1,656,700	5,199,270

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	5,199,270
全社費用(注)	△474,261
四半期連結損益計算書の営業利益	4,725,008

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	7,345,339	3,195,962	14,318,547	24,859,850
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,345,339	3,195,962	14,318,547	24,859,850
セグメント利益	3,151,667	350,547	2,154,757	5,656,972

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	5,656,972
全社費用（注）	△611,431
四半期連結損益計算書の営業利益	5,045,540

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。